



池田桂 (日本共産党)

つながり 支え 認め合い いきいきと
かがやけるまち をめざして

問 障がいを抱える方が、地域で「いきいきと」活躍できる場やサービスについての市の取組みについて伺う。

答 地域での活躍の場やサービスについて、本人の希望や障害特性を踏まえた支援のため地域活動支援センターを市内2ヶ所に設置し、障がいのある方の一般就労の機会拡大を図るために多摩市障がい者就労支援センターを設置している。

問 子どもたちを地域で「つながり支え」る見守りや相談窓口などの取組みについて伺う。

答 各児童館では、地域内にある小・中学校や幼稚園、保育所、自治会の皆さんや青少年問題協議会の皆さんとも連携して子どもたちを見守っている。

問 高齢者が「かがやける」活動のための取組みについて伺う。

答 介護予防ボランティアポイント事業では、元気な高齢者が活動できるように、多摩ボランティア・市民活動支援センターと連携し、ボランティア活動の拡大や新たに活動する施設の開拓、制度に関する説明会を実施している。



中島律子 (あすたま・維新)

障がいのある方のための投票について

問 多摩市は障がいのある方の投票支援に関する情報提供が非常に少ない。18歳になって初めて選挙に参加する方に送られるリーフレットに関しても障がいのある方への配慮が全くなかったため改善を要望するがいかがか。

答 選挙管理委員会には必要な情報をお届けする責務があると認識している。

問 代理投票制度についての周知がないに等しい。他の自治体のように、障がいのある方への投票支援方法のホームページへの掲載や、代理投票申請書の作成などを検討いただきたいがいかがか。

答 投票に必要な支援等について、多摩市公式ホームページなどへの掲載や支援シートの活用についても検討していく。

問 代理投票等の投票支援については、確実にそれらを必要とする方に周知できるよう、福祉のしおりへの掲載なども必要と思われるがいかがか。

答 福祉のしおりへの掲載については、障害福祉課と調整しながら掲載について検討していく。



折戸小夜子 (多摩の風)

1.平和啓発事業の推進を
2.ミニバス「豊ヶ丘二丁目北」停留所前の横断歩道は危険

問 第33回多摩市平和展で「戦死者たちからのメッセージ 武田美通・鉄の造形展」が8月に開催されたが、入場者数と寄せられた声について伺う。

答 8日間での来場者は2000人を超え、10歳未満から90歳代までの幅広い来場者の多くから「平和への意識が深まった」「作品の持つ強いイメージ性に衝撃を受け、戦争の恐怖、むごさ、悲惨さが伝わった」との感想が寄せられた。

問 武田美通の鉄の造形30作品は恵泉女学園大学に保管されているが、3年後に閉校が予定されており、保存先について「作品を広める会」も困っている。前向きな検討を要望する。

答 まずは所有団体における検討が肝要と考える。

問 ミニバス東西線の「豊ヶ丘二丁目北」停留所前の横断歩道は街路樹が街路灯の照明を妨げ、早急な対応が必要だが見解を伺う。

答 街路灯が街路樹に妨げられ、横断歩道を十分に照らしていないことを確認した。周辺住民に周知し、早急な伐採に努める。



議会の活動を のぞいてみませんか？

～FacebookやYouTubeでの情報発信を行っています！～

Q.多摩市議会のFacebookでは何が見られるの？

A.Facebookでは、定例会会期中の本会議や委員会の予定、視察の様子などをお知らせしています。ぜひご覧ください！



Facebookはこちら

右記の二次元コードを読み込むか、「**多摩市議会 Facebook**」で検索してください。

Q.YouTubeの視聴方法は？

A.お持ちのパソコン、スマートフォン、タブレットなどでご覧いただけます！



YouTubeはこちら

右記の二次元コードを読み込むか、「**多摩市議会 YouTube**」で検索してください。

YouTubeでは、本会議や委員会の様子を生中継しています。また、過去に行われた審議の録画映像もご覧いただけます。